

## 2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 6 日作成)

小委員会名	フィジビリティスタディ小委員会	主 査 名：小林 昭男 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会 (海洋研究推進運営委員会)	委員長名：横内憲久 主 査 名：野口憲一
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2007 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2004 年度 各小委員会の提案に基づくコンセプトの整理と統合 2005 年度 同上およびコンセプトの設計案の検討 2006 年度 実現評価に基づく課題抽出および実現化のための必要性の提示	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り	
	小林昭男(主査：日本大学), 岡田智秀(幹事：日本大学) 池尻一仁(大成建設株), 泉裕喜(三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株), 荻原みき(東京電力株), 三溝裕之(日本工営株), 増田光一(日本大学), 横内憲久(日本大学),	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2006 年度予算	68,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://www.aij.or.jp/jpn/comm/1.htm">http://www.aij.or.jp/jpn/comm/1.htm</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	全 5 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	1.(名称)海洋部門研究協議会実例を通して「アダプティブ海洋建築」を考える 参加者数：34 名 (資料名)同上
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.2007 年度の大会を通じて、これまでの成果である「東京湾に面する自治体の海に向けたニーズと課題」について公表し、会場にて意見交換を実施する予定。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1.首都圏の陸域の広域防災拠点の整備状況を踏まえ、これらの施設と海上の防災拠点との関係付けをほぼ把握した。 2.海上立地の必要性和望まれる機能について調査研究を行い、それをほぼ把握した。 3.当初の全体目的を概成した。研究成果は 2007 年度の大会において論文発表する予定である。
委員会活動の問題点・課題	1.特になし

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。